



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月29日

上場会社名 キーコーヒー株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2594 URL <http://www.keycoffee.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柴田 裕  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 橋口 芳久 (TEL) (03) 3433-3311  
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	13,957	△0.5	736	72.9	842	70.7	556	123.3
25年3月期第1四半期	14,023	7.8	425	103.0	493	76.6	249	133.3

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 538百万円(168.0%) 25年3月期第1四半期 200百万円(69.2%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
26年3月期第1四半期	24	54	—	—
25年3月期第1四半期	11	26	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	47,255	—	35,498	—	—	72.7
25年3月期	46,635	—	35,120	—	—	72.9

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 34,356百万円 25年3月期 34,010百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
25年3月期	円	銭	円	銭	円	銭
26年3月期	—	5.00	—	7.00	—	12.00
26年3月期(予想)	—	7.00	—	7.00	—	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	26,600	△3.1	600	37.4	750	35.7	440	71.5	—	—
通期	53,300	△0.6	1,100	16.2	1,400	7.9	820	△25.1	19	39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	22,689,000株	25年3月期	22,689,000株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	7,945株	25年3月期	7,945株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	22,681,055株	25年3月期1Q	22,134,274株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日までの3ヶ月間）における当社グループを取巻く経営環境は、新政権による経済政策や金融政策に対する期待感から緩やかに回復の兆しが見られたものの、個人消費は低調なまま推移するなど厳しい状況が続きました。

コーヒー業界は、ここ数年高値圏で推移していたコーヒー生豆相場が最高値圏を脱したものの為替相場が円安に転じるなど先行きは不透明であり、穀物類の国際相場の高騰や乳製品価格の値上がりなどコーヒー以外の商品の原材料価格も上昇し、予断を許さない状況が続いております。

このような市場環境の下、当社グループはコーヒーの持つ魅力を生活者にお届けし続けるという企業使命を果たすため、「品質第一主義」の経営理念に基づき、「ブランド強化」、「収益力の強化」及び「グループ連携強化」を3つの柱として、新たな事業領域の開拓、生活者のニーズにお応えする新商品の開発やお取引先との絆を深める企画提案型の営業活動を行いました。

これらの結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は、139億57百万円（前年同期比0.5%減）、営業利益は7億36百万円（同72.9%増）、経常利益は8億42百万円（同70.7%増）となりました。また、四半期純利益は5億56百万円（同123.3%増）となりました。

セグメントの営業概況は次のとおりであります。

#### (コーヒー関連事業)

業務用市場では、「トアルコ トラジャ コーヒー」や公益社団法人氷温協会の2013年度「優秀技術賞」を受賞した「氷温熟成珈琲」など差別性の高いプレミアムコーヒーの拡販活動を推進しました。また、お取引先への支援策として、「カレーフェア」や「トロピカルマンゴーフェア」などを実施するとともに、「根野菜と豆のキーマカレー」などの新商品を発売しました。

家庭用市場では、春夏商品として期間限定商品「氷温熟成珈琲 マンデリン」と「リッチブレンド」を詰合わせた「ドリップ オン バラエティパック」や手軽にカフェ気分が味わえる割りカフェシリーズに「カフェオレベース 甘さひかえめ」の新商品を投入しました。

ギフト商品では、中元期に「天然水プリズマ飲料ギフト」、「トラジャ&ブルーマウンテン レギュラーコーヒーギフト」など全34アイテムをラインアップしました。

新たな商品カテゴリーを創出するために市場導入したイタリアのコーヒーメーカーillycafe S.p.A.（イリカフェ社）のカプセルコーヒーシステムにつきましては、6月に日本初となるillyエスプレッソマシンの専門店を近鉄あべのハルカスに出店するなど積極的な提案活動を行いました。

なお、2013年度モンドセレクションにおいてアロマフラッシュ「鮮やかな香り キリマンジェロブレンド」が『最高金賞』を3年連続受賞し、2013年iTQi（国際味覚審査機構）においては、「真空パックスペシャルブレンド」が『優秀味覚賞“三ツ星”』を2年連続受賞するなど、数々の当社商品が高く評価されました。

この結果、当第1四半期連結累計期間におけるコーヒー関連事業の売上高は116億6百万円（前年同期比1.1%減）、営業利益は7億50百万円（同82.1%増）となりました。

#### (飲食関連事業)

株式会社イタリアントマトでは、「夏のスイーツフェア」など四季折々の食材を取り入れた季節毎のメニューフェアを実施しました。また、「国内は充実」「海外は拡大」の方針に加え新業態の店舗の開発を促進することとし、国内では新ブランド「ITカフェ」の第1号店「イオンモールつくば店」などの出店を行い、海外ではASEAN地域での拡大を進め、中国に「ケーキショップ 上海久光静安店」などを出店した結果、国内外に5店出店しました。一方、不採算店6店を閉鎖し、店舗数は303店（直営店78店、FC店225店）となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における株式会社アマンドを含めた飲食関連事業の売上高は16億9百万円（前年同期比1.6%減）、営業利益は55百万円（同22.5%減）となりました。

（その他）

その他事業の売上高は7億41百万円（前年同期比14.2%増）、営業利益は82百万円（同13.8%増）となりました。

## （2）財政状態に関する説明

（資産）

総資産は前連結会計年度末に比べて6億19百万円増加し、472億55百万円となりました。

流動資産は2億21百万円増加し、247億43百万円となりました。これは受取手形及び売掛金の増加（7億44百万円増）、現金及び預金の減少（4億29百万円減）などによるものであります。

固定資産は3億98百万円増加し、225億11百万円となりました。有形固定資産は38百万円増加、無形固定資産は3百万円増加しました。また投資その他の資産は、投資有価証券の増加（3億21百万円増）などにより3億56百万円増加しました。

（負債）

負債は前連結会計年度末に比べて2億41百万円増加し、117億56百万円となりました。

流動負債は前連結会計年度末に比べて2億45百万円増加し、90億46百万円となりました。これは支払手形及び買掛金が増加（11億99百万円増）、未払法人税等の減少（4億39百万円減）、賞与引当金の減少（3億12百万円減）などによるものであります。

固定負債は3百万円減少し、27億10百万円となりました。

（純資産）

純資産は前連結会計年度末に比べて3億77百万円増加し、354億98百万円となりました。これは利益剰余金の増加（3億98百万円増）などによるものであります。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想につきましては、現時点において平成25年5月15日に公表致しました業績予想の変更はございません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,883	9,453
受取手形及び売掛金	6,683	7,427
有価証券	5,087	4,987
商品及び製品	1,150	1,319
仕掛品	158	177
原材料及び貯蔵品	863	874
繰延税金資産	371	196
その他	350	337
貸倒引当金	△26	△29
流動資産合計	24,522	24,743
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,137	6,102
機械装置及び運搬具（純額）	1,650	1,655
土地	6,315	6,315
その他（純額）	660	727
有形固定資産合計	14,764	14,802
無形固定資産		
のれん	140	131
その他	314	327
無形固定資産合計	454	458
投資その他の資産		
投資有価証券	4,814	5,136
長期貸付金	157	149
繰延税金資産	18	45
差入保証金	1,695	1,704
その他	478	489
貸倒引当金	△271	△275
投資その他の資産合計	6,893	7,249
固定資産合計	22,112	22,511
資産合計	46,635	47,255

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,629	5,829
短期借入金	410	221
未払金	1,336	1,149
未払法人税等	653	214
賞与引当金	586	273
その他	1,184	1,358
流動負債合計	8,800	9,046
固定負債		
長期借入金	15	39
繰延税金負債	21	4
再評価に係る繰延税金負債	557	557
退職給付引当金	1,249	1,240
資産除去債務	257	261
その他	612	606
固定負債合計	2,714	2,710
負債合計	11,514	11,756
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,628	4,628
資本剰余金	5,037	5,037
利益剰余金	27,369	27,767
自己株式	△13	△13
株主資本合計	37,022	37,420
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	614	559
土地再評価差額金	△3,623	△3,623
為替換算調整勘定	△2	0
その他の包括利益累計額合計	△3,012	△3,063
少数株主持分	1,110	1,141
純資産合計	35,120	35,498
負債純資産合計	46,635	47,255

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	14,023	13,957
売上原価	9,887	9,636
売上総利益	4,135	4,321
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び見本費	225	230
荷造運搬費	264	275
車両費	125	124
貸倒引当金繰入額	9	10
役員報酬	109	89
給料及び賞与	1,371	1,362
賞与引当金繰入額	185	177
退職給付費用	110	45
福利厚生費	240	244
賃借料	294	279
減価償却費	94	78
消耗品費	93	98
研究開発費	55	48
その他	530	520
販売費及び一般管理費合計	3,709	3,585
営業利益	425	736
営業外収益		
受取利息	11	7
受取配当金	33	60
持分法による投資利益	—	19
受取家賃	10	11
その他	21	12
営業外収益合計	76	111
営業外費用		
支払利息	4	2
持分法による投資損失	0	—
為替差損	4	2
その他	0	1
営業外費用合計	9	5
経常利益	493	842
特別利益		
投資有価証券売却益	2	102
負ののれん発生益	5	—
受取賠償金	—	6
その他	0	0
特別利益合計	8	109
特別損失		
投資有価証券評価損	6	—
その他	0	—
特別損失合計	6	—



(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
税金等調整前四半期純利益	495	951
法人税、住民税及び事業税	217	198
法人税等調整額	△1	163
法人税等合計	215	362
少数株主損益調整前四半期純利益	279	589
少数株主利益	30	32
四半期純利益	249	556

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	279	589
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△79	△54
為替換算調整勘定	1	3
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	△78	△51
四半期包括利益	200	538
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	177	505
少数株主に係る四半期包括利益	23	32

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	495	951
減価償却費	304	279
負ののれん発生益	△5	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	△2	△102
投資有価証券評価損益 (△は益)	6	—
受取賠償金	—	△6
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△11	7
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△13	△312
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	65	△13
受取利息及び受取配当金	△44	△68
支払利息	4	2
持分法による投資損益 (△は益)	0	△19
売上債権の増減額 (△は増加)	△439	△740
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△233	△197
仕入債務の増減額 (△は減少)	744	1,199
未払金の増減額 (△は減少)	△61	△203
その他	219	187
小計	1,027	963
利息及び配当金の受取額	38	72
利息の支払額	△4	△2
受取賠償金の受取額	—	3
法人税等の支払額	△258	△621
営業活動によるキャッシュ・フロー	802	415
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△1,000	△1,500
有価証券の償還による収入	1,000	1,500
投資有価証券の取得による支出	—	△567
投資有価証券の売却及び償還による収入	429	380
有形固定資産の取得による支出	△193	△277
その他	55	△61
投資活動によるキャッシュ・フロー	291	△526
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	19
短期借入金の返済による支出	—	△199
長期借入れによる収入	—	40
長期借入金の返済による支出	△48	△28
配当金の支払額	△94	△130
その他	△28	△22
財務活動によるキャッシュ・フロー	△171	△322
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	3
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	924	△429
現金及び現金同等物の期首残高	7,945	10,270
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,869	9,840

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	コーヒー 関連事業	飲食 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	11,738	1,635	13,373	649	14,023	—	14,023
セグメント間の内部売上高 又は振替高	109	1	111	387	498	△498	—
計	11,848	1,636	13,484	1,037	14,522	△498	14,023
セグメント利益	412	71	483	72	556	△130	425

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、飲料製品製造事業、オフィスサービス事業及び通販事業、運送物流事業、保険代理店事業等を営んでおります。
2. セグメント利益の調整額 △1億30百万円には、セグメント間取引消去 2百万円、棚卸資産の調整額 0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 △1億33百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	コーヒー 関連事業	飲食 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	11,606	1,609	13,216	741	13,957	—	13,957
セグメント間の内部売上高 又は振替高	114	0	114	298	413	△413	—
計	11,721	1,609	13,331	1,040	14,371	△413	13,957
セグメント利益	750	55	806	82	889	△153	736

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、飲料製品製造事業、オフィスサービス事業及び通販事業、運送物流事業、保険代理店事業等を営んでおります。
2. セグメント利益の調整額 △1億53百万円には、セグメント間取引消去 1百万円、棚卸資産の調整額 8百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 △1億62百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。